

DC/ACインバーター 取扱説明書

修正正弦波



修正正弦波



この度はLVYUAN®（リョクエン）インバーターをご購入頂き、誠に有難うございます。
安全にご使用いただくため、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みになり、内容を
ご理解いただいた上で正しくご使用くださいますようお願い致します。

この取扱説明書は「保証書付き」となっております。

ご購入後は本書を紛失されないよう大切に保管してください。

修正正弦波インバーター 取扱説明書

— も く じ —

● もくじ	1
● 安全上の注意事項	2
● その他注意事項	3
● 製品の特長	4
● 使用可能な機器	4
● インバーターの出力について	5
● 出力電流の波形について	5
● 変換時のロスについて	5
● 接続バッテリーについて	6
● 使用時間の計算方法	6
● 接続および使用方法	7
● 各種保護回路・ヒューズの交換方法	8
● 故障と処理	9

ケガや事故を防ぐために必ずお守りください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害などが発生することが想定される内容を示しています。

安全上のご注意 — 必ずお守りください —

警告

- 製品本来の用途以外に使用しないでください。
- 本製品のAC出力コンセントに電源プラグ以外のものを絶対に差し込まないでください。感電や故障の原因になります。
- 本製品または接続している機器に異常や不具合が生じた場合には、ただちに使用を中止してください。
- 接続する機器に表示された注意事項を確認し、記載事項を守ってご使用ください。
- 車両のアクセサリソケットは必ず単独で使用してください。たご足配線や配線を分岐させて使用した場合、車両のヒューズが熔断したり異常過熱や発火、本体の故障などの原因となる恐れがございます（※シガーソケット接続モデルの場合）
- 医療機器に類するものや社会的・公共的に重要な機器、事業用機器などには使用しないでください。
- 本製品はDC12VまたはDC24V（直流）専用製品です。その他の電圧では絶対に使用しないでください。
- 通風孔を塞いだり、異物を入れたりしないでください。製品内の放熱を妨げ故障の原因となる恐れがございます。
- 本製品に重い物を乗せたり、落下しやすい所に置いて使用しないでください。本製品の破損、落下などによるケガ・感電・発火・火災などの原因となる恐れがございます。
- 濡れた手で接続ケーブルや接続機器の電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の恐れがございます。
- 点検・調整・修理は、弊社またはお買上の販売店までご依頼ください。お客様ご自身の調整・修理により発生したトラブルにおきましては保証製品の対象外となり、全ての責任を負いかねます。
- 子供・乳幼児には手を触れさせないように注意してください。ケガや感電など、思わぬ事故の原因になります。
- 湿度が極端に高い場所や、雨や雪などの水がかかる場所で使用しないでください。漏電・感電の恐れ、製品の故障の原因となります。
- 故障の原因となりやすい悪環境下（粉塵が発生する場所や直射日光の当たりやすい場所）では使用しないでください。

注意

- 可燃物の周辺で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルの上にものを乗せたりしないでください。感電・発熱。発火の原因となる恐れがございます。
- 直射日光下や発熱体の近辺など、高温になる場所で使用しないでください。
- 塩害・ホコリの多い場所・化学性ガスの被害を受けやすい場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- ヒューズ交換作業以外の目的で本体カバーを開けないでください。
- 本体を分解したり改造しないでください。故障の恐れ、保証の対象外となります。
- 接続機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを確実に持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張って無理に電源プラグを抜くと芯線が断線してしまうなど、火災や感電の原因となる恐れがございます。
- 本製品の指定ヒューズ以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用されますと、異常過熱や発火の原因となります。
- シガーソケットや接続ケーブルが汚れている場合は汚れを良く拭いてからご使用ください。接触不良による異常過熱などの原因となります。
- シガーソケットが接続口の奥まで確実に差し込まれていることを確認してください。走行時の振動などによりシガーソケットが接続口から抜けてしまうことがあります。接触不良の状態で使用を続けた場合、発熱によりシガーソケットの破損の原因となる恐れがございます。
- 走行時の振動などにより、シガーソケットの先端の固定具が緩む場合があります。定期的に確認し、増し締めを行ってください。
- 本製品に接続する機器は必ずエンジン始動後に接続してください。機器を接続した状態でエンジンの始動をした場合、接続した機器の故障の原因となる場合がございます。（※シガーソケット接続モデルのみ）

■ 接続時・設置上のご注意

重要

- 接続ケーブルやシガーソケットを接続される前に、本体の電源が「OFF」の状態になっていることを確認してください。
- お車のメインバッテリーに接続される場合には、必ずバッテリーのマイナス端子をバッテリーから取り外し、インバーターを接続してください。マイナス端子をバッテリー接続されたまま施工を行った場合、工具などがプラス端子に触れた際に短絡の恐れがございます。
- 自動車の運転や自動車の操作の妨げになる場所に設置しないでください。
- 前方の視界や、お車のエアバッグの動作の妨げになる場所に設置しないでください。
- 接続ケーブルなどを車体の可動部分（ネジ・シートレールなど）に挟み込まないように注意してください。
- 配線作業を行う際に接続ケーブルなどを挟み込ませたり、引っ張るなどせず、ケーブルを傷つけないように配線作業を行ってください。
- 市販の増設用ソケットなどに接続して使用しないでください。（※シガーソケットモデルの場合）
- 風通しが良く適切に排熱が行える場所に設置してください。
- 一部の外国車ではシガーソケットの形状が異なる場合があります。シガーソケットの接触不安定になりご使用頂けない場合がございます。この場合にはカーディーラーおよびカー用品専門店などで「変換アダプター」をお買い求めくださいませ。
- 本製品をバッテリーに接続する際に、電気性質上、微小ながら火花が出ることがありますが不良ではありませんのでご安心ください。
- 接続ケーブルを誤った方法（+極と-極の線を接触させて短絡 [ショート] するなど）で接続されますと、大きく火花が発生し非常に危険です。よくお確かめの上、正しくケーブルを接続してください。
- シガーソケットを使用してインバーターを使用する場合、お車のヒューズ許容電力（約120~150W）が最大出力となります。ヒューズの許容値を超過して使用された場合、お車側のヒューズの溶断及び配線システムへ損傷を恐れがございます。

■ 使用上のご注意

重要

- 本製品は防水仕様ではございません。雨や雪などにかからないように注意してください。
- 運送途中の衝撃などにより、製品が破損していたり、取り付け部品が外れている場合がございます。ご使用になられる前に本体の状態を必ず確認してからご使用ください。
- 本製品を誤って落としたり、ぶつけてしまった場合には以上の有無を確認してからご使用ください。
- バッテリー及びお車から本製品を取り外す際は必ず本体の電源スイッチを「OFF」の状態にして取り外してください。
- お車のメインバッテリーやシガーソケットに接続して使用される場合、エンジンが停止された状態で長時間使用しないでください。バッテリー上がりや、バッテリー劣化の原因となる恐れがございます。
- 本製品の性質上、音響機器や映像機器（テレビやラジオなど）にノイズが入ってしまうことがあります。予めご了承ください。
- 本製品使用による接続機器のメモリーおよびデータ類の破損や消失につきましては、一切の責任を負いかねます。使用される場合には必ず使用前にデータ類のバックアップを行ってください。
- 接続された接続機器の消費電力の合計値が、本製品の定格出力及び最大瞬間出力を超過した場合、保護回路が作動され出力を停止する機能が付いております。保護機能により停止された場合は、接続機器の消費電力の合計値をお確かめの上ご使用ください。
- エンジンを始動する際には、本製品を取り外してください。
- 本製品を使用して電化製品など充電を行う場合、接続されたお車のバッテリーサイズや電池残量により、充電時間が異なります。
- 本製品がバッテリーに接続されている場合、電源スイッチが「OFF」の状態でもアクセサリ出力（USB電源ポート）は通電している状態になります。無負荷時の消費電力は些少となりますが、バッテリー残量が低下してしまうので、使用されない場合にはバッテリーからインバーターを取り外してください。
- リモコン機能付きのインバーター（一部モデルのみ）をリモコンで操作する場合には、本体の電源スイッチを「OFF」の状態にしてご使用ください。本体の電源スイッチが「ON」の状態にはリモコン操作不可となります。また、リモコン操作にて本体の電源を入れた場合には本体電源スイッチでの操作が行えませんが、必ずリモコンで電源を「OFF」にしてください。

■ 保管上のご注意

重要

- 長期間保管、または使用されない場合には、必ず本製品をバッテリーから取り外してください。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿な環境、ホコリの多く発生する場所や振動の多い場所には保管しないでください。
- 製品の梱包箱及び本取扱説明書は破棄せず大切に保管してください。（※紛失された場合には保証の対象外となる場合がございます。）
- 付属品（接続ケーブルなど）は必ず本体と一緒に保管してください。

■ 製品の特長

- 自動車に搭載されたバッテリーやシガーソケット、そのほかキャンピングカーのサブバッテリーなどの **直流電源 (DC12V / DC24V)** を、家庭用電源と同じ **交流電源 (AC100V)** に**変換**する機器です。
- 交流電源 (AC100V) の出力だけでなくUSB電源ポートを搭載しているので、USB接続機器を利用してスマートフォンの充電やパソコンの充電など、そのほかデバイス用電源としてもご使用頂けます。
- 本製品は家庭電源で出力される「純正弦波」と異なる波形である「修正正弦波」を出力するモデルです。波形の性質上使用できる電化製品に一部制限がございます。(※詳細は本書の[P5]をご参考ください。)
- 一部モデルには離れていても遠隔で操作ができる便利な「リモコン操作機能」を搭載しております。

■ 使用可能な機器

消費電力が定格出力以内の電化製品



携帯充電器



照明



扇風機



テレビ



ヒーター



・以下の機器については定格出力以内でもご使用頂けません。

- 社会的・公共的に重要な機器
- 医療機器に類する機器や事業用機器



・以下の機器については定格出力以内でもご使用頂けない場合があります。または、波形の性質上ご使用頂けない場合がございます。

- モーターやコンプレッサーを使用した機器 (電動工具・冷蔵庫・ポンプ・エアコンなど)
機器に表示されている消費電力はモーター回転時の消費電力であり、起動時にはおよそ3倍～7倍程度の電力を必要とする場合がございます。
- 真空管・マグネトロンを使用した機器 (電子レンジなど)
起動時におよそ3倍～7倍程度の電力を必要とする場合がございます。
また、機器本体の選択ボタンなどに「500W/600W」と表現されておりますが、こちらは温める能力 (高周波出力) の値となり、定格消費電力は本体裏や側面記載されております「定格消費電力」が実際の消費電力となります。
- IH (電磁誘導型過熱) を使用する機器 (IHコンロ・電気ケトル・炊飯器・アイロンなど)
起動時におよそ3倍～5倍程度の電力を必要とする場合がございます。
- テレビ (特殊機能搭載モデル) など
スタンバイ機能のついていつテレビ (主電源をONにした上でリモコンなどで電源をONにするタイプ) は起動時に約5倍ほどの電力を必要とします。また、同じ消費電力でもメーカーや機種によってはご使用頂けない場合がございます。

- ・その他にも電気機器によっては実際の消費電力が表示されている消費電力を超過する場合があります。
- ・上記記載の必要電力は目安であり、必要となる電力の値を確約するものではありません。

■ インバーターの出力について

定格出力

安定して長時間（連続的）電力を供給することができる出力値

最大出力（瞬間）

ごく短時間に限定された時間内（約1秒以内）で供給することができる出力値



家電製品などの電気機器は電源を「ON」にした瞬間に、表示されている消費電力を超過する数倍の電力を必要とします。本製品の「最大出力（瞬間）」は起動時などに瞬間出来に大容量の電力が必要な場合に対応するものとなります。本製品を連続的にご使用頂く場合には、製品の定格出力を目安にご使用ください。

※接続機器の起動時に必要となる消費電力が製品の最大出力の範囲内であっても、接続機器の起動時間が1秒を超える場合には起動することができません。

■ 出力電流の波形について

- 一般的に電流の波形は大きく3つに分類されており、下図の左から順に「純正弦波」、「修正正弦波」、「矩形波」となり、波形が滑らかな形であるほど安定的な電力供給が行えます。本製品が出力する波形は一般家庭電源で採用されている波形と異なる「修正正弦波」であり、突入電流の大きい一部の製品や波形に依存される電化製品などをご使用頂けない場合がございます。

— 出力される電流波形 —



純正弦波



修正正弦波



矩形波

高い

供給電力の安定性

低い

■ 変換時のロスについて

- インバーターの内部で、バッテリーの直流電源（DC12V/24V）から交流電源（AC100V）に変換を行う際に、電気性質上「**変換ロス**」が発生します。本製品では平均的に「85%~90%」の効率で変換がされており、変換ロスにより、製品の定格出力の実数値が変動します。インバーターを使用される場合には変換時のロスを考慮し、実際の出力値を求める必要があります。詳細は下記計算式となります。



— 実出力値の計算 —

定格出力1000W - 最大出力2000W インバーター、変換効率85%の場合

$$1000\text{W} \times 0.85 = 850\text{W}$$

$$2000\text{W} \times 0.85 = 1700\text{W}$$

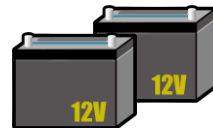


定格出力850W - 最大出力1700W

■ 接続バッテリーについて

適合バッテリー

- ・鉛バッテリー（密閉型/開放型/GEL/AGM/EFB）
- ・リチウムイオンバッテリー



■ 接続バッテリー推奨サイズ

- インバーターに接続するバッテリーはインバーターの定格出力などのサイズにより、適切なサイズのバッテリーをお選びいただく必要がございます。インバーターのサイズに合わないバッテリーを接続して使用した場合は本来のパフォーマンスでの動作されないため、定格出力以内であっても電化製品がご使用頂けない場合がございます。インバーターの出力別推奨バッテリーサイズは下記のとおりとなります。

インバーターの定格出力	バッテリーの推奨サイズ
1000W	60Ah以上
1500W	100Ah以上
2000W	150Ah以上

※上記推奨値はバッテリー満充電状態でのインバーター動作に必要な推奨サイズとなっております。

■ 使用可能時間の計算方法

- ① バッテリーの時間率容量 (Ah) と電圧 (V) から、容量 (Wh) に変換します
- ② ①で求めた容量 (Wh) に、インバーターの変換効率 (%) をかけて実質容量 (Wh) を求めます
- ③ ②で求めた実質容量 (Wh) を、使用電化製品の (Wh) で割って使用可能時間 (h) を求めます。



(例) バッテリーサイズ100Ah-12V / 効率85% / 100Whの電化製品 を使用する場合

① $100\text{Ah} \times 12\text{V} = 1,200\text{Wh}$

② $1,200\text{Wh} \times 0.85 = 1,020\text{Wh}$

③ $1,020\text{Wh} \div 100\text{Wh} = 10.2\text{h}$



約10.2時間使用可能

※上記計算方法は比較的電圧降下が発生しにくいリチウムイオン蓄電池にて算出されたものとなります。通常の鉛ディープサイクルバッテリーは放電の際に著しく電圧が降下するため、上記計算が当てはまらない場合がございますのでご参考までにお考え下さい。

■ 本体の接続方法

バッテリー直接接続の場合

- バッテリーに接続される前に、接続ケーブルの被覆に破れなどが無いか確認してください。
- 接続時には素手で作業せず、感電防止のため絶縁手袋などを着用してください。
- バッテリーとインバーターの間「ブレーカーやヒューズ」などを接続しないでください。
- 接続ケーブルは必ずインバーター本体から接続し、バッテリーはあとで接続してください。

(※先にバッテリー側に接続した場合ショートする可能性があり非常に危険です。)

- ① 付属のケーブルとワッシャーをインバーターに接続します。
(※赤線は+極端子へ、黒線は-端子へ接続してください。)
(※必ずワッシャーを挟んで使用し、端子キャップは確実に締めてください。)
- ② インバーターに接続した赤線(+極線)をバッテリーの+極端子に接続します。
- ③ 黒線(-極線)をバッテリーの-極端子に取り付けます。

シガーソケット接続の場合(一部モデルのみ)

- シガーソケット電源に接続される前に、接続ケーブルの被覆に破れなどが無いか確認してください。
- 接続時には素手で作業せず、感電防止のため絶縁手袋などを着用してください。
- 接続ケーブルは必ずインバーター本体から接続し、シガーソケット原電にはあとで接続してください。

(※先に電源側に接続した場合ショートする可能性があり非常に危険です。)

- ① 付属のケーブルとワッシャーをインバーターに接続します。
(※赤線は+極端子へ、黒線は-端子へ接続してください。)
(※必ずワッシャーを挟んで使用し、端子キャップは確実に締めてください。)
- ② インバーターに接続したケーブルをシガーソケット電源に差し込みます。

■ インバーター使用方法

AC出力

- ① インバーター本体の電源スイッチを入れます
(※周波数の切替が可能なモデルは、事前に出力したい周波数に設定してください。)
(※起動後は出力を安定させるため3~5秒程度負荷を与えずお待ちください。)
- ② 接続される電化製品の電源が「OFF」になっていることを確かめたのち、インバーターにコンセントを接続します。
- ③ 接続電化製品の電源を「ON」に切り替えてご使用ください。

USB出力

- ① USBケーブル(Aタイプ)を本製品のUSB端子に差し込んでご使用ください。
(※周波数の切替が可能なモデルは、事前に出力したい周波数に設定してください。)

■ 各種の保護機能

保護回路が作動した場合には、電源を「OFF」にして作動した原因を取り除いてください。

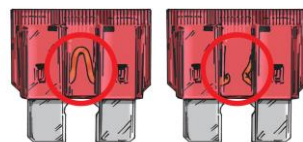
定電圧入力保護	入力電圧が低下した場合、警告音が鳴り出力を停止します。
高電圧入力保護	本体に異常な高電圧が入力された場合、警告音が鳴り出力を停止します。
出力過負荷保護	本体の許容電力値を超過した場合、警告音が鳴り出力を停止します。
出力短絡保護	短絡（ショート）が感知された場合、出力を停止します。
逆接続保護	電源入力ケーブルを＋極と－極を逆に接続した場合、内部ヒューズ熔断により保護します。
高温保護	冷却ファンで正常に放熱が行えず高温となった場合、出力を停止します。

■ ヒューズの交換方法

内蔵された保護ヒューズの交換は以下の手順で行ってください。

- ① 本体側面の本体カバー固定用ネジを緩めてカバーを外します。
（※交換時は必ず電源ケーブルを取り外し、通電されない状態で行ってください。）
- ② 本体基盤に取り付けられたピンク色のヒューズをペンチなどで取り外し、ヒューズが熔断されていないかを確認します。（※熔断の確認方法は **図1** をご参考ください。）
- ③ 熔断されたヒューズを交換し、本体カバーをネジ固定で固定して作業完了です。

図1 ○ 正常なヒューズ × 切れたヒューズ



■ リモコン接続（※一部モデルのみ）

リモコンの電池を交換してもリモコン操作が正常に行えない場合には、以下の手順にてリモコン接続のリセットとペアリングを行ってください。

- ① インバーターの電源が入れ、本体の側面から内部を確認し、再設定用ボタン（黒色または白色の小さなボタン）を5秒程度長押ししてリモコンとの接続をリセットします。
（※ボタンを押すと赤色のランプが点灯します。ランプが消灯するまで長押ししてください。）
- ② 再度2回ボタンを押し、ボタンを離してもランプが点灯される状態になったらすぐにリモコンの「ON」ボタンを押します。
- ③ ランプが点滅し、リモコン再接続完了となります。

※生産年式などによりランプが点灯されない場合がございます。点灯されない場合には、実際にお買い求めいただいたストアまたは店舗までお問い合わせくださいませ。

■ 故障と処理

現象	原因	処置
インバーターの電源が入らない (または電源が切れない)	バッテリーに正しく接続されていない	バッテリーのそれぞれの極性を確認し、正しく接続してください。
	シガーソケットが確実に接続されていない(シガーソケット接続の場合)	セケットを接続口に確実に奥まで差し込んでください。
	電源スイッチが「OFF」状態になっている	本体の電源を入れてください
	接続ケーブルの締め付けが緩い	付属のワッシャーなどを使用し、確実に締め付けて固定してください
	保護回路が作動している(本体のFAULTランプが点灯)	保護回路が作動しています。保護回路が作動する原因を取り除いてください。
	本体のヒューズが溶断している	本体のヒューズを交換してください。 (※詳細は本書.P8をご参考ください。)
接続した機器が使用できない	保護回路が作動している(本体のFAULTランプが点灯)	保護回路が作動しています。保護回路が作動する原因を取り除いてください。
	バッテリーの残量・容量(Ah)が不足している	バッテリーを充電する、または適切なバッテリーサイズのものに交換してください。 (※詳細は本書.P6をご参考ください。)
	インバーターの定格出力を超過している	連続的に使用される場合には定格出力以内の電化製品を使用してください。 (※詳細は本書.P4~5をご参考ください。)
	接続ケーブルが細い	適切な太さのケーブル(付属のケーブル)などをご使用ください。
本体から「ピー」という警告音がする(起動時を除く)	保護回路が作動している(本体のFAULTランプが点灯)	保護回路が作動しています。保護回路が作動する原因を取り除いてください。
	バッテリーの電圧とインバーターの仕様電圧が適合していない	12Vと24V、電圧が適合されていることを確認してください。
	バッテリーの電圧が不足している	バッテリーを充電する、または適切なバッテリーサイズのものに交換してください。 (※詳細は本書.P6をご参考ください。)
	起動後5秒程度で警告音が停止される	正常な動作です。
使用中に接続機器の電源が切れてしまう	保護回路が作動している(本体のFAULTランプが点灯)	保護回路が作動しています。保護回路が作動する原因を取り除いてください。
	バッテリーの残量・容量(Ah)が不足している	バッテリーを充電する、または適切なバッテリーサイズのものに交換してください。 (※詳細は本書.P6をご参考ください。)
	インバーターの定格出力を超過している	連続的に使用される場合には定格出力以内の電化製品を使用してください。 (※詳細は本書.P4~5をご参考ください。)
	消費電力が大きい製品(モーター製品やコンプレッサー類)を使用している	対応可能な機器に変更して使用する (※詳細は本書.P4~5をご参考ください。)

■ 故障と処理

現象	原因	処置
バッテリーの電圧がすぐに低下してしまう	バッテリーの性能が低下している	バッテリーの電圧・比重などをご確認ください。
	消費電力が大きい製品（モーター製品やコンプレッサー類）を使用している	対応可能な機器に変更して使用する（※詳細は本書.P4~5をご参考ください。）
車のヒューズが切れてしまう （シガーソケット接続の場合）	接続している機器の消費電力がお車のヒューズ許容値（100W~150W）を超過している	消費電力の小さい機器を使用してください。
	シガーソケット用ヒューズがお車のオーディオなどその他の機能のヒューズと共用になっている	消費電力の小さい機器を使用してください。
	増設ソケットから電源を取っている	本製品単独でご使用ください。
USB機器の電源が入らない USB電源から充電ができない	USB接続口に確実に差し込まれていない	接続機器のケーブルを接続口にしっかりと奥まで差し込んでください。
	接続されたUSB機器が対応していない	接続する機器によっては、電源が入らなかったり充電できない場合がございます。詳しくは接続される機器のメーカー様にお問い合わせください。
インバーターの電源を切ってもUSBランプが点灯している	インバーターの電源スイッチは内部変換機器のスイッチであり、直流のまま出力がされるUSBランプが点灯しているのは正常な挙動です	正常な動作です。（※すべての出力を停止する場合には、インバーター本体とバッテリーの接続をはずしてください。）
インバーターのから適切な電圧が出力されない	無負荷状態での電圧	本製品の出力電圧は、負荷時に100V±5%となるように調節され出荷されております。
	真の実効値の計測が必要	本製品は「修正正弦波」を出力するインバーターです。波形の性質上、テスターなどでは実効値として出力されている電圧の計測が行えません。真の実効値の計測が可能なテスターでご確認ください。
リモコン操作が行えない	本体の電源スイッチを「ON」状態で操作している	リモコン操作は本体電源スイッチを「OFF」状態でご使用頂くものとなります。電源スイッチが「ON」状態の場合には「OFF」にして再度お試しください。
	リモコンと本体のペアリングが解除されている	リモコンとインバーターのペアリングが解除されている可能性がございます。詳細は販売元までお問い合わせください。
バッテリー接続時に火花が発生する	電気性質上発生されるものですので、正常な挙動です	正常な挙動です。



LVYUAN (リョクエン)
公式オンラインストア始めました！

新製品の情報を随時更新中！

製品のお問い合わせについても承っております。

詳細やお問い合わせはQRコードから！



LVYUAN (リョクエン)
LINE 公式アカウント

**お得な情報を
皆さまにお届け！**



**公式アカウント
はこちらから！**



新製品情報

お得な情報

イベント

